



1階鑑賞室 定員20名先着順 無料 (13:30開場)

11月4日(金) 名作映画鑑賞会

14:00~15:56 「安宅家の人々」

11月11日(金) 県民の日映画会

14:00~15:31 「星の牧場」

11月18日(金) 金曜映画会

14:00 「小三治 ドキュメンタリー映画」
~15:44

11月24日(木) 郷土に親しむ映画会

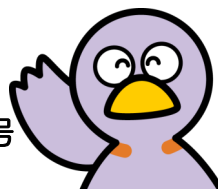
14:00 「青天を衝け 1」
~15:40

お問い合わせ

埼玉県立熊谷図書館

〒360-0014 熊谷市箱田5丁目6番1号

TEL 048-523-6291



埼玉県のマスコット
コバトン

大映で活躍した久松静児監督による「安宅家の人々」や、2021年に放送された渋沢栄一に関する作品を上映するトン♪

名作映画鑑賞会

11月4日（金）

14：00～

「安宅家の人々」（モノクロ・116分・劇映画）



この家を渡しても、生き方までは渡さない。

安宅家の跡継ぎ宗一と結婚した国子。しっかり者の彼女は優しい夫とともに屋敷を切り盛りしていました。

しかし親戚の譲二が移り住んでから事態は一変します。放蕩者の譲二は失敗した事業の清算を頼むばかりか、使用人をそのかしてストライキを企てる始末。

家族をめぐる様々な問題が噴出するなか、国子はもちまへの才覚をもって毅然とした態度で立ち向かうことを誓います。

原作者の吉屋信子は「女性の自立」という言葉すらなじみの薄かった時代、新しい女性像を掲げました。田中絹代、乙羽信子らの名演とともにご鑑賞ください。

※この作品は、県立久喜図書館のDVDです。

県民の日映画会

11月11日（金）

14：00～

「星の牧場」（カラー・91分・劇映画）

高原の牧場で働く青年モミイチは、戦争で受けた傷により記憶を失ってしまいました。唯一記憶に残ったのは愛馬ツキスミの蹄の音だけ。耳に残るその音に慰められながら、日々を過ごしていました。そんなある日、森の奥に迷い込んだモミイチは奇妙な男に出会います。

彼から森の中に暮すというジプシーたちの話を聞いたモミイチは…。庄野英二の描いたあたたかなファンタジー作品です。



※この作品は16ミリフィルムです。

金曜映画会

11月18日（金）

14：00～

「小三治ドキュメンタリー映画」（カラー・104分・教養）

『高田馬場の師匠』とも呼ばれ、芸事への厳しさには定評のある柳家小三治。「噺すこと即ち心を述べること」という言葉には長年、第一線で活躍してきた演者ならではの美意識が凝縮されています。



落語協会会長として、また人間国宝として、その普及に尽くした落語家・10代目柳家小三治（郡山剛蔵氏）の人となりに迫ったドキュメンタリー作品です。

※この作品は、県立久喜図書館のDVDです。

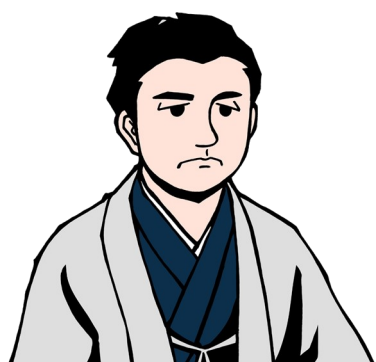
郷土に親しむ映画会

11月24日(木)

14:00~

「青天を衝け 1」(カラー・100分・教養)

太平の江戸が過ぎ、幕末の風雲が押し寄せ始めた時代、武蔵国血洗島村で一人の男児が誕生します。幼い頃より商才を発揮した少年は、後に国家を背負い立つ人物となりました。



少年の名は市三郎。のちに日本資本主義の父と呼ばれた、大渋沢こと、渋沢栄一その人です。

波瀾の生涯を辿りながら日本の夜明けを信じ、その信念を貫いた渋沢栄一の生涯を描きます。

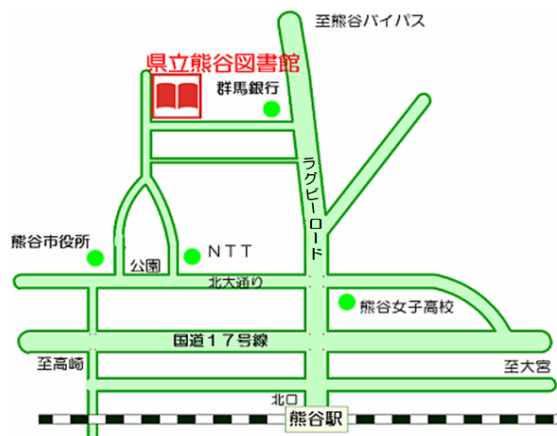
※この作品は、県立熊谷図書館のDVDです。

* 12月の映画会 *

12月2日(金)	名作映画鑑賞会	14:00~	「アルジャーノンに花束を」(カラー・95分) ※日本語字幕作品
12月9日(金)	金曜映画会		「荒野に希望の灯をともし 医師・中村哲 現地活動35年の軌跡」(カラー・88分)
12月16日(金)	郷土に親しむ映画会		「あすも夕やけ」(カラー・74分)
12月22日(木)	冬休み映画会		「ふしぎ駄菓子屋銭天堂 1」(カラー・90分)

(上映する作品や日程は変更となる場合があります。)

* 埼玉県立熊谷図書館アクセス地図 *



編集・発行 埼玉県立熊谷図書館

〒360-0014 熊谷市箱田5丁目6番1号

TEL 048-523-6291

埼玉県立図書館WebサイトURL

<https://www.lib.pref.saitama.jp/>

2022.10月発行